

NETZ Racing

TOYAMA

Race Report 2023 / Vol.9



大会名称	GOODYEAR Dream Cup2023
開催日程	Yaris MT class 2023.12.16
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	#123 NETZ TOYAMA Racing Yaris
ドライバ	山口竜也、松井宏太、水野大
参加台数	35台
予選順位	5位
決勝順位	1位

今年の締めくくりとして、昨年に引き続き、富士スピードウェイへ降り立った。

「GOODYEAR Dream Cup 2023」へ参戦するためだ。

一昨年は優勝、昨年は4位と今年は昨年のリベンジを果たし1位に振り返ることが目標だ。

昨年の敗因はペナルティを受けてしまい順位が下がってしまったことと、給油のタイミングが合わず時間ロスしたことだ。

メンバーは昨年と同じメンバーで挑んだ。

< 予選 >

Aドライバーの山口が路面ウェット状態でアタックをかける。1周で終わる予定が途中でコースアウトしてしまい予定外の2周アタックになったが、結果は5位と上々だ。

< 決勝 >

昨年はヤリス 20台で争っていたが本年は35台と1.5倍の台数がエントリーしている。

ローリングスタートで山口がスタートを行なう。久々の富士スピードウェイ、苦手なウェットということもあり、徐々に順位を下げていく。5番手でスタートしたが13番手まで順位を落とす。ここで山口→水野のドライバーチェンジを行なう。スムーズなドライバーチェンジでこのドライバーチェンジだけで5位まで順位を戻す。このまま水野が2位まで順位を上げて、給油とピット作業を行う。この時間は7分と制限があるので7分以上かけてしまうと時間ロスになってしまう。給油が終わりピットに戻ってきた時点で残り2分。4月に当社に入社したエンジニア4名でタイヤ交換を行い、スムーズな作業で7分以内に終え、ロスすることなくコースに復帰。この時点でヤリスクラス1位に復帰する。その後は1つのチームと一進一退の攻防を繰り広げ最後のドライバーの松井にチェンジする。チェンジした時点で後ろのライバルと20秒ほどの差をつけており、何もなければこのまま優勝できるとチームメンバー誰もが思っていたが、ここでハプニング発生。

他のチームのクラッシュによりSCが導入された。SC導入により20秒あった差が数秒まで縮められてしまう。

時間は残り30分、天候は土砂降りの状態でSCランが続く。

残り10分を切った所でSC解除され、残り数週の勝負となった。1ミスで負けてしまうハラハラする展開だったが見事後続を離して1位フィニッシュして今年最後のレースを終えた。

このレースで今年の最終レースが終了致しました。沢山の応援本当にありがとうございました。

来年もレース活動を通してもっと良いサービス、技術、知識を身に付け還元していけるようチーム一丸となって頑張りますので応援よろしくをお願いします。

今年1年、本当にありがとうございました